

高等学校 令和6年度（2学年用）教科 地歴公民 科目 世界史探究

教科：地歴公民 科目：世界史探究 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 B組～C組

使用教科書：（山川 詳説世界史探究）

教科 地歴公民 の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度

科目 世界史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解していると同時に、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>第1章文明の成立と古代文明の特質</p> <p>【知識及び技能】 メソポタミア文明が今日に残した文化的遺産や、シリア・パレスチナ地方で多くの民族が興亡を繰り返した背景などを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 オリエントの風土と、その文明の歴史的特質の関係などを多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 1 文明の誕生 2 古代オリエント文明とその周辺 3 南アジアの古代文明 4 中国の古代文明 5 南北アメリカ文明</p> <p>・教材 教科書 資料集 プリント 問題集</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 都市の成立や文字の使用など、古代文明に共通する歴史的特質を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 文明の誕生について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	7
<p>第2章中央ユーラシアと東アジア世界</p> <p>【知識及び技能】 新たに現れた「皇帝」の特質や各王朝の支配体制の変遷などを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 統一国家の出現が社会や文化に与えた影響などを、多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 1 中央ユーラシア 2 秦・漢帝国 3 中国の動乱と変容 4 東アジア文化圏の形成</p> <p>・教材 教科書 資料集 プリント 問題集</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 秦・漢といった統一国家の支配体制について、それまでの春秋・戦国時代と比較したうえで理解しているかなど。</p> <p>【思考・判断・表現】 秦・漢の時代に生じた地域間の結びつきの変化や、統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現しているかなど。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 秦・漢帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしているかなど。</p>	○	○	○	6
定期考査			○	○		1
<p>1 学期</p> <p>第3章南アジア世界と東南アジア世界の展開</p> <p>【知識及び技能】 グプタ朝における宗教や文化の展開、8～10世紀の諸勢力が割拠した時代における各地の政権の政策などを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ヒンドゥー教が南アジアの社会に根づいていった背景などを多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 1 仏教の成立と南アジアの統一国家 2 インド古典文化とヒンドゥー教の定着 3 東南アジア世界の形成と展開</p> <p>・教材 教科書 資料集 プリント 問題集</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 南アジアで生まれたさまざまな宗教が、南アジアの社会や周辺諸地域へ与えた影響を理解しているかなど。</p> <p>【思考・判断・表現】 それまで仏教やジャイナ教が盛んだったことをふまえたうえで、ヒンドゥー教が社会に根づいていった背景を多面的・多角的に考察し表現しているかなど。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 インド古典文化とヒンドゥー教について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしているかなど。</p>	○	○	○	7

